



2024年11月 現在

Fujitsu

Enterprise Postgres Community Edition 17

Enterprise Postgresは、オープンソースソフトウェアのPostgreSQLを搭載し、富士通の技術で信頼性・安全性を向上させたオープンスタンダードで安心・安全に使えるデータベースです。

本Editionは、オープンソースソフトウェアのPostgreSQLにアプリケーションインターフェース（ODBC、JDBC、Npgsql）、インストーラを同梱しており、PostgreSQLを簡単に使用することができます。

本商品は、サブスクリプションライセンスを提供しています。

- **サーバ**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **クライアント**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **サーバ**

Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

- **クライアント**

Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) / Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

1. Enterprise Postgres Community Edition 17の機能の構成について

Enterprise Postgres Community Edition 17は、OSSデータベース「PostgreSQL」を搭載し、アプリケーションインターフェース（ODBC、JDBC、Npgsql）、およびインストーラを一つに集約した製品です。

Enterprise Postgres 17の提供機能を以下のような構成に分けて説明します。

- ・ OSSデータベース「PostgreSQL 17」
- ・ PostgreSQLの周辺ツール（OSS）

2. OSSデータベース「PostgreSQL 17」

OSSデータベースであるPostgreSQL 17の主な新機能は以下です。

- ・ VACUUM時のメモリ使用量が削減され、処理性能が向上しました。
- ・ SQL/JSON標準への対応を強化しました。
- ・ シーケンシャルスキャンやbt treeインデックスを用いた検索の処理性能が向上しました。
- ・ 論理レプリケーションに関するいくつかの機能追加・改善が行われました。そのうち主要なものは以下の通りです。
 - 物理プライマリノードとスタンバイノード間での論理レプリケーションスロットの同期機能の追加
 - 物理スタンバイをサブスクリバに変換するサーバアプリケーションであるpg_createsubscriberの追加
 - pg_upgradeによるパブリッシャ・サブスクリバノードのアップグレードサポート
- ・ 新しい接続オプションsslnegotiationが追加されました。

これにより、アプリケーションがPostgreSQLインスタンスに接続する際には、最初からTLS接続を試行できるようになります。

- ・ pg_basebackupによる増分バックアップができるようになりました。
- ・ COPY FROM文に新しいオプションON_ERRORが追加されました。

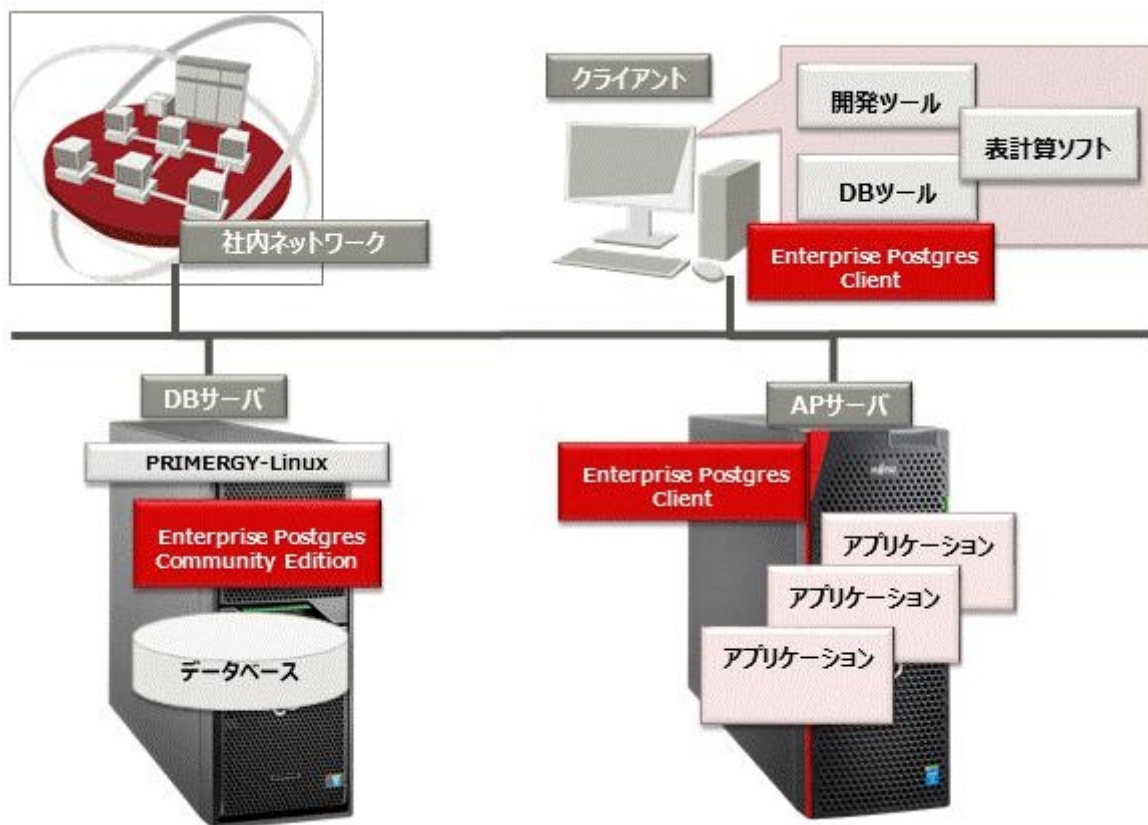
これにより、コピー中にエラーが発生した場合でも、処理を継続することができるようになります。

3. PostgreSQLの周辺ツール（OSS）

Enterprise Postgres Community Edition 17のOSS周辺ツールの機能は以下です。

(1)アプリケーションインターフェース

JDBC Driver（JDBCドライバ）、psqlODBC（ODBCドライバ）、Npgsql（.NET データプロバイダ）



16から17の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. PostgreSQLのリベース

Enterprise PostgresがベースとするPostgreSQLのバージョンが16.0から17.0にアップしました。

- ・ オンラインマニュアル
 - ・ Enterprise Postgres Community Edition ユーザーズガイド
 - ・ Enterprise Postgres Community Edition リリース情報
 - ・ FJQSS(資料採取ツール)ユーザーズガイド

【メディア】

- ・ Enterprise Postgres Community Edition メディアパック(64bit) 17

【サブスクリプションライセンス/サポート】

[サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- ・ Enterprise Postgres Community Edition コアライセンス for Linux (SL&S)
- ・ Enterprise Postgres Community Edition コアライセンス 待機サーバ for Linux (SL&S)

[サブスクリプションライセンス/サポート(まとめ払い)]

- ・ Enterprise Postgres Community Edition コアライセンス for Linux (SL&S) 7年
- ・ Enterprise Postgres Community Edition コアライセンス 待機サーバ for Linux (SL&S) 7年

1. 製品プログラムについて

製品プログラムは、メディアパックをご購入ください。使用権は許諾されておりませんので、別途、サブスクリプションライセンス/サポートを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。

2. サブスクリプションライセンス/サポートについて

サブスクリプションライセンス/サポートはプログラム・プロダクト使用権とサポートサービス (SupportDesk Standard) が一体となったサービス商品です。

【月額払い】

サービスを購入することで、1ヶ月分の使用権とサポートを得ることができる商品であるため、使用の開始、継続、中止等に当たっては、以下のことにご留意ください。

- ・使用開始日から1ヶ月間のみ、使用権とサポートが有効です。
- ・継続して使用する場合は、サービス契約は自動的に更新されます。
- ・使用を中止する場合は、1ヶ月以上前に解約申入れが必要です。

【まとめ払い】

サービスを購入することで、7年間分の使用権とサポートを得ることができる商品であるため、使用の開始、継続に当たっては、以下のことにご留意ください。

- ・使用開始日から7年間、使用権とサポートが有効です。
- ・自動更新は不可です。(新規購入が必要)

インストールするサーバのコア数に応じてサブスクリプションライセンス/サポートが必要となります。

利用するサーバ環境(物理サーバ環境、仮想環境、クラウド環境)での、本サブスクリプションライセンス/サポートの必要購入数は以下のとおりです。

【物理サーバ環境】

必要購入数 = 物理サーバの稼働プロセッサに搭載されているコアの総数

【仮想環境、クラウド環境】

必要購入数 = 仮想サーバに割り当てられる仮想プロセッサの総数

仮想プロセッサにスレッドが割り当てられる場合、スレッド数をコア数へ変換(1コアあたりのスレッド数で除算)して必要ライセンス数を計算します。(小数点以下端数切上げ)

必要購入数 = 仮想サーバに割り当てられる仮想プロセッサの総数 ÷ コアあたりのスレッド数

3. ライセンスの適用範囲について

サブスクリプションライセンス/サポートを購入することにより、以下のプログラムの使用権を許諾するとともに、サポートサービスを提供します。

- ・Enterprise Postgres Community Edition

4. クライアントソフトウェアについて

クライアントソフトウェアはインストールフリーです。

5. ストリーミングレプリケーションを利用する場合の購入方法

ストリーミングレプリケーションを利用する場合は、運用ノードと待機ノードの両方に対して、サブスクリプションライセンス/サポートを購入してください。

運用ノードの場合は、以下を購入してください。

- ・ Enterprise Postgres Community Edition コアライセンス for Linux (SL&S)

待機ノードの場合は、以下を購入してください。

- ・ Enterprise Postgres Community Edition コアライセンス 待機サーバ for Linux (SL&S)

1. SQL埋込みCのアプリケーションを開発する場合

SQL埋込みCのアプリケーションを開発する場合、以下のいずれかが必要になります。

- ・ Microsoft(R) Visual Studio 2015 / 2017 / 2019 / 2022(Windowsで開発する場合)
- ・ Cコンパイラ (Linux OS製品で提供されているもの。Linuxで開発する場合)

2. Javaアプリケーションを開発する場合

- ・ Java SE 8以降

3. Microsoft(R) .NETアプリケーションを開発する場合

Enterprise Postgresは、Microsoft社が提唱するADO.NETに準拠したデータベースアクセスコンポーネント、NET Data Providerを提供しています。

アプリケーションの開発および運用には、以下の環境が必要です。

- ・ Microsoft(R) .NET 6.0/7.0/8.0
- ・ Microsoft(R) .NET Standard 2.0/2.1
- ・ Microsoft(R) Visual Studio 2015/2017/2019/2022

なし

1. Intel64環境での動作について

【サーバ】

本商品は、以下のディストリビューションの環境で、64ビットモードで動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 8.2以降をサポート
- Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 9.2以降をサポート
- SUSE Linux Enterprise Server 15 SUSE Linux Enterprise Server 15SP3以降をサポート

【クライアント】

本商品は、以下のディストリビューションの環境で、64ビットモードで動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 8.2以降をサポート
- Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 9.2以降をサポート
- SUSE Linux Enterprise Server 15 SUSE Linux Enterprise Server 15SP3以降をサポート

2. Windows クライアントのサーバOS (64-bit)上での動作

【クライアント】

本商品は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)

3. Windows デスクトップOS (64-bit)上での動作

【クライアント】

本商品は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 10(64-bit)
- Windows 11(64-bit)

4. SQL埋込みホストプログラムについて

本商品では、アプリケーションにSQL文を埋め込んでデータベース操作を行うSQL埋込みホストプログラムを開発できます。対象となるホスト言語は以下のとおりです。

- ・C言語

5. 他のエディションのインストールについて

以下のすべての条件に合致する場合はインストールできません。

- 以下の製品名表記のうち、<製品のバージョン>が同じ
Enterprise Postgres <エディション名> (64bit) <製品のバージョン> SP<レベル>
- エディションが異なる

例

以下の場合は、インストールできません。

- インストール済製品が Enterprise Postgres Standard Edition (64bit) 17
- インストールする製品が Enterprise Postgres Community Edition (64bit) 17

6. 排他ソフトウェアについて

排他ソフトウェアはありません。

7. ネットワーク通信 (IPv4/IPv6) を利用する場合の留意事項

ユニキャストでは、ユニークローカルアドレス (IPv6のみ)、リンクローカルアドレス、ループバックアドレスは使用できません。また、マルチキャストも使用できません。

8. FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS、FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシンおよびパブリッククラウド利用時の留意事項

・ Enterprise Postgres 17の機能を使用する場合に必要なとなるソフトウェアについては、「Enterprise Postgres Community Edition ユーザーズガイド」の「付録A 動作環境」にある「A.1.2 関連ソフトウェア」を確認してください。また、必要なソフトウェアが仮想システムサービス上でサポート可能であることを確認して使用してください。

・ 使用するメモリ容量は4Gバイト以上を推奨します。

9. 仮想化環境で利用する場合の留意事項

(1) VMwareを利用する場合

以下の機能は、利用できません。

- ・ DR機能
- ・ FT機能
- ・ HA機能 (ストリーミングレプリケーションを利用する場合)

以下の機能は、データベースが停止している場合に利用可能です。

- ・ クローニング機能

(2) Linux仮想マシン機能を利用する場合

以下の機能は、データベースが停止している場合に利用可能です。

- ・ クローニング機能

(3) Hyper-Vを利用する場合

(3-1)Hyper-V 2019(第2世代)を利用する場合

以下の機能は、利用できません。

- ・ フェールオーバー機能 (ストリーミングレプリケーションを利用する場合)

(3-2)Hyper-V 2016(第2世代)を利用する場合

以下の機能は、利用できません。

- ・ フェールオーバー機能 (ストリーミングレプリケーションを利用する場合)

(3-3)Hyper-V 2016(第1世代)以前を利用する場合

以下の機能は、利用できません。

- ・ ライブマイグレーション機能
- ・ クイックマイグレーション機能
- ・ Hyper-Vレプリカ機能
- ・ インポート/エクスポート機能
- ・ フェールオーバー機能 (ストリーミングレプリケーションを利用する場合)

10. クラスタ運用について

PRIMECLUSTERを使用したクラスタ運用を行うことはできません。このため、業務サーバとデータベースサーバは別々に構築する必要があります。

お客様向けURL

- ・ **ソフトウェア：富士通（Enterprise Postgres）**

本商品の詳細情報を掲載しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/middleware/database/enterprisepostgres/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**

価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポートポリシーなどの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>